

はさみは使いようで切れ味が長持ちする!?



はさみ博士

はさみは使用目的によって、いろいろな種類があります。はさみを正しく選ぶ・使うことによって、切れ味・耐久性にも影響が出てきます。

今回は用途に応じた正しい選び方・使い方と手入れ方法を学習しましょう。



布切はさみ「ブラック」プロ仕様



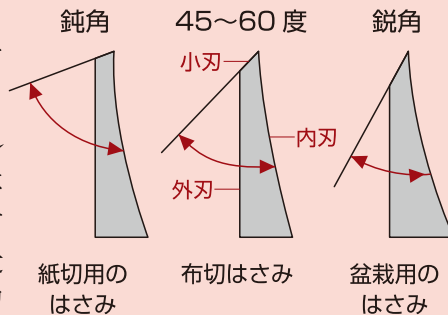
【はさみの切断耐久テスト】

クロバーでは、布切はさみや糸切はさみの切れ味の寿命を調べるために、はさみ切断耐久試験機を自社で開発。この「切れ味耐久テスト」で特に『ブラック プロ仕様』は驚異的な数字をクリアしました。

はさみの正しい使い方とは? ✂

はさみは、2枚の刃をかみ合わせる構造になっていますが、刃の形状、刃の付け方、仕上げ方法など、使用目的によってそれぞれ違ってきます。

例えば、布を切る目的で作られている布切はさみの刃付角度は45~60度が最適とされていますが、紙切用だとほとんど直角に近い刃付、盆栽用だと逆に鋭角の刃付が最適とされているのです。



布切はさみは、布以外には使用しないようにお願いします。

小刃の角度が違うように、布切はさみは、布を切るための刃付や仕上げをしています。一丁のはさみでなんでも切ろうとすれば、すぐに切れ味が落ちたり、刃こぼれがして、ダメになってしまいます。布・糸・紙など、はさみの使い分けをおすすめください。



長持ちするはさみの手入れ方法

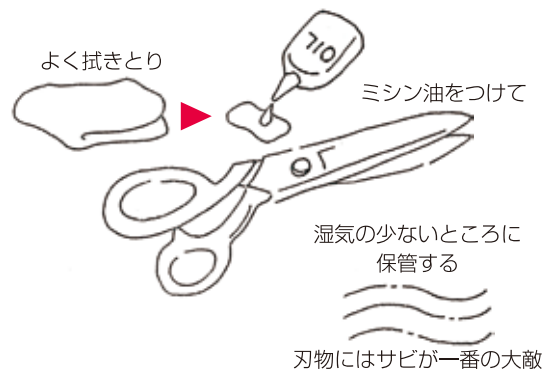
はさみの刃は、鋼で作られています。いくら入念に仕上げられていても、手入れをせずに放っておいたのでは、サビてしまいます。

● 使用後はミシン油をつけておく

使った後は、布・糸くず、手の脂や汗を乾いた布でよく拭き取り、ミシン油をつけておきます。小刃・内刃の部分は特に念入りに。

● 保管は、湿気の少ないところへ

空気中の湿気には、水分だけでなく硫黄分も含まれており、サビの大きな原因になります。湿気の少ない場所に保管しましょう。また、長い間使わない場合は、時々出して手入れをしてください。



はさみの選び方とは？ (家庭で必要なはさみ)

家庭で揃えておき、必要に応じて使いわけたいはさみとしては、布専用の布切はさみ、糸専用の糸切はさみ、刺しゅう・手芸はさみ、紙・ひもなどを切るはさみ、化粧用はさみ、学校へ持って行く児童用、盆栽用などのはさみがあります。

その他、台所や洗面所、救急箱、車の中など場所に依りてはさみがあればとても便利です。

はさみの使い分けをおすすめ 用途に合わせて選べるクロバーはさみ

お客様に、はさみの使い分けをおすすめすることが親切になりますし、はさみを買っていただくチャンスにもなります。クロバーはさみには、用途に合わせて選べるように豊富な種類のはさみがそろっています。



用途別・専用仕様のクロバーはさみ

大切な布のカットには、
切れ味を最優先した「布専用」のものを。

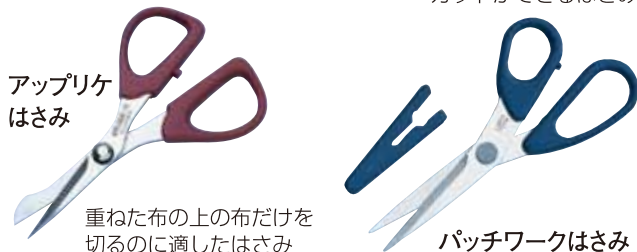


細かい作業だからこそ、
使い心地を大切に「糸専用」のはさみ。



アップリケやパッチワークには
専用のはさみを。

布逃げがなく正確な
カットができるはさみ



重ねた布の上の布だけを
切るのに適したはさみ

刺しゅうなど、
繊細な手芸にふさわしいはさみ



はさみが切れなくなったら？

切れ味が落ちてきた場合のいちばん多い原因は、刃先の欠けと摩耗です。刃先を再生するには小刃と内刃を研ぎ直せばよいのですが、内刃を研ぎ直すのはたいへん難しいのです。そこで「小刃だけを」と研ぎ屋さんに依頼するのがよい方法です。

小刃の刃付け角度は45～60度ですが、そのはさみの元々付いていた角度にしてください。

研ぎ直しは「小刃」だけに。
他をいじると切れなくなります。

研ぎ直しを研ぎ屋さんに頼んだときには、ネジをゆるめたり、内刃を研いだりすると、逆に切れなくなることがあるので、注意してください。



はさみの使い方
まとめ

はさみを正しく使い、手入れすることで、切れ味が長持ちします。